

歴史まとめ（聖徳太子～国風文化）

女帝の _____ 天皇と摂政となった _____ は、豪族の _____ の力を借りて政治を行いました。その人の能力に応じて地位を与える _____ や、「一に曰く、 _____ をもって貴しとし、」で始まる、役人の心構えを説く _____ を作りました。また、 _____ らを隋の国に送りました。これを _____ といいます。

7世紀の中頃、中国では隋が倒れて _____ ができました。これにあわせて遣隋使は _____ となって続きました。唐の国では _____ を整えて巨大な _____ 国家となっていました。日本でも唐の国にならって、天皇中心の中央集権国家を作ろうとする動きがありました。そのためには _____ 氏がじゃまでした。そこで、 _____ 年に、 _____ と _____ は、 _____ を暗殺し、 _____ と呼ばれる政治改革を始めました。中大兄皇子は _____ 天皇となって、豪族などが支配していた土地や人民を国が支配することを目指しました。これを _____ といいます。天智天皇のあと、あつぎ争いの _____ が起こり、これに勝利した _____ 天皇は改革を一気にすすめました。 _____ 年、唐の制度を手本にして _____ が作られ、新しい国家のしくみが定まりました。中国では唐がさかえたので朝鮮半島にも変化がおこりました。 _____ が唐と組んで、 _____ と _____ を滅ぼして朝鮮半島を統一しました。

_____ 年に唐の都の長安を手本にした _____ が完成しました。都の市では _____ などの銭貨が使われました。朝廷は東北地方に住む人々を _____ と呼んで、この人たちを支配する拠点として、今の宮城県に _____ をつくりました。また、九州には _____ をおいて外交を担当させました。律令制のもとで、人々は公民（良民）と _____ に分けられ、6年ごとに作られる _____ に登録されて、 _____ によって _____ 歳以上の男女に _____ があたえられました。農民は、 _____ などの税や、雑徭などの労役を負担しました。男子には兵役の負担もあり、兵士の中には _____ として九州に送られる者もありました。

このように、農民の暮らしは苦しくて、口分田を捨てて逃げ出す農民があらわれました。そうになると田んぼが荒れてしまうので、 _____ 年に _____ が出され、新しく開墾した土地は開墾した者のが永久に私有してよいことになりました。このようにして、律令制の基本である公地公民が崩れ始めました。

____天皇は、____年に都を____にうつして律令政治の建て直しをめざしました。国司の不正をとりしまり、坂上田村麻呂を____に任命して蝦夷を征服しようとした。が、地方の政治や税の取り立ては____にまかされるようになり、貴族や寺社の私有地である____がどんどん増えていきました。

都では、藤原氏の勢力が強まりました。藤原氏は、娘を天皇のきさきにして、その子を天皇に立て、朝廷の実権をにぎりました。天皇が幼いときには摂政、成人したら関白として天皇の代わりに政治を行いました。これを____といいます。

日本の文化

1. 聖徳太子が建てた____ --- ____文化。
2. 平城京の奈良時代 --- ____天皇の____文化。東大寺の倉の____。歴史書の____と____。和歌を集めた____。
3. 藤原氏の時代は貴族の時代。遣唐使が終わったので外国の影響を受けない日本独特の文化である____文化。貴族の住んでるところは____。____文字が発達して、紫式部の「____」や清少納言の「____」。紀貫之らが作った和歌集である「____」。